

農 研 速 報

平成 26 年 1 月 8 日 発行
 茨城県農業総合センター農業研究所
 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3402
 Tel 029-239-7211 Fax 029-239-7306

作物名 (大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (水戸市)	タチナガハ 10/23 成熟期	2 日早い	<p>大豆生育期間 (6 月 18 日～10 月 28 日) の気象は、平均気温が平年 (直近 5 ヶ年の平均) より 0.1℃高く、日照時間が平年比 106%、降水量が平年比 129% であった。本年度は台風の影響もあり 10 月の降雨が多く、10 月 (1 日～28 日) の降水量は平年比 205% であった (水戸地方気象台観測値)。</p> <p>開花期は、タチナガハ、納豆小粒とも平年より 1 日早かった。成熟期は、タチナガハが平年より 2 日早く、納豆小粒が平年より 2 日遅かった。</p> <p>タチナガハでは、平年より主茎長がやや長く、分枝数が多かった。結実莢数が平年より多く、百粒重は平年より軽かったが、粗子実重は平年比 112% と多かった。納豆小粒では、平年より主茎長が長く、分枝数が多かった。結実莢数は平年並みだが、百粒重が平年よりやや重く、粗子実重は平年比 112% と多かった。</p> <p>病害は、薬剤による適期防除を実施したことにより、紫斑粒等の発生がほとんどなかった。</p> <p>納豆小粒では、8 月中旬の大雨と 10 月の台風による風雨により倒伏程度が大きかった。</p>	納豆小粒で倒伏程度が大きかった。	・紫斑病及び害虫の防除を適宜実施した。
	納豆小粒 10/28 成熟期	2 日遅い			

表 生育及び収量(成熟期調査)

品種	開花期			成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数		
	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月31日	△3 (8月3日)	△1 (8月1日)	10月23日	△10 (11月2日)	△2 (10月25日)	58	110 (52)	108 (54)	14.1	96 (14.6)	103 (13.6)	5.0	107 (4.7)	111 (4.5)
納豆小粒	8月9日	△2 (8月11日)	△1 (8月10日)	10月28日	△1 (10月29日)	2 (10月26日)	83	120 (69)	112 (75)	17.6	98 (17.9)	101 (17.5)	6.4	122 (5.3)	115 (5.6)

品種	茎の太さ			全重			結実莢数			粗子実重			百粒重		
	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	8.6	89 (9.6)	97 (8.8)	49.9	103 (48.7)	94 (53.1)	57.8	102 (56.8)	113 (51.1)	36.1	124 (29.2)	112 (32.1)	31.7	81 (39.0)	91 (34.9)
納豆小粒	8.1	98 (8.3)	99 (8.2)	47.5	101 (47.2)	95 (50.2)	164.9	89 (184.7)	102 (162.0)	32.8	100 (32.7)	112 (29.4)	10.4	102 (10.2)	106 (9.8)

()内は前年または平年の数値。平年値は平成20年～24年(5カ年分)のデータの平均値。

茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。

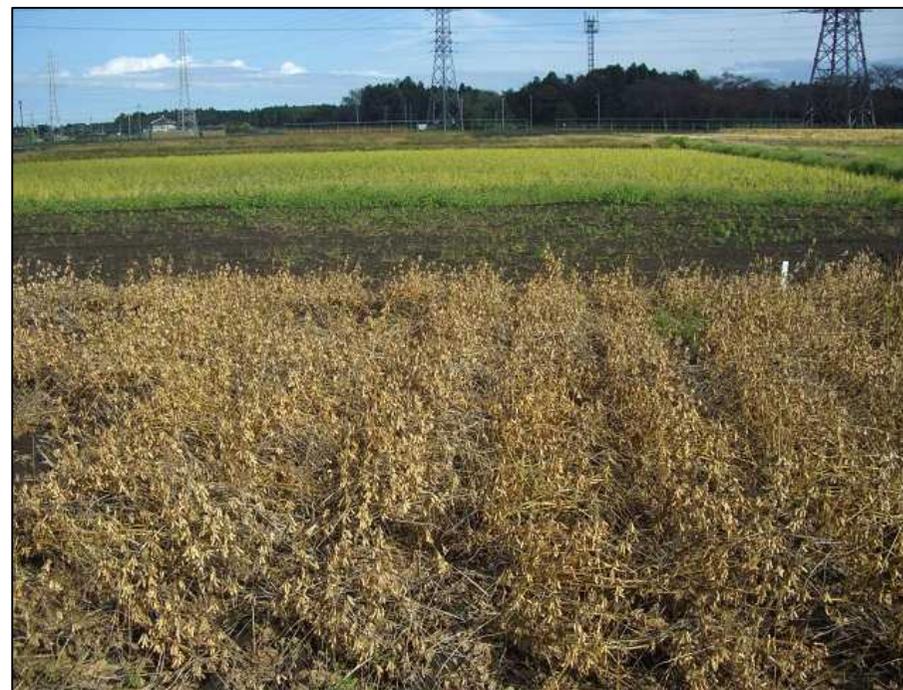
播種日:6月18日、栽植密度:11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

農研所内圃場における成熟期状況

(タチナガハ：10月23日撮影、納豆小粒：10月28日撮影)



タチナガハ



納豆小粒

↑
倒伏程度大